



2人目以降の保育料無償化の開始へ ～「もっと」子育てがしやすくなる！ 若者・子育て世代から選ばれるまち京都～



京都市
CITY OF KYOTO

令和7年1月6日
子ども若者はぐくみ局
幼保総合支援室
(075-251-2390)



背景



令和 5 (2023)年の京都市の合計特殊出生率**1.08**

→ **0.07ポイント低下**(7年連続低下)

→ 出生数：**680人減**(8年連続減少)

参考 (対前年比)

全 国： 1.20 (0.06ポイント低下)

京都府： 1.11 (0.07ポイント低下)



一方で…

理想の子どもの人数

→ 約7割が「2人以上が理想」と回答

効果があると思う取組・施策

→ 約8割が「保育料など子育てに係る費用の負担軽減に効果がある」と回答

(出典) 京都市 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査結果報告書 (令和6年6月)



こうした市民の声を受けて



新京都戦略※におけるリーディングプロジェクトの1つ

地域の「絆」で支え合う子育て応援プロジェクト



府市協調による子ども医療費支給制度の充実、
2人目以降の保育料無償化の検討など
子育て世帯の経済的負担の更なる軽減。



※ パブリックコメントを令和7年1月14日（火）まで募集中



「もっと」子育てがしやすくなります！

これまでから

もっと

保育料
2人目以降
無償化へ

○こどもまんなか公園魅力アッププロジェクトの推進

○京都市スマイルママ・ホッと事業（産後ケア事業）の拡充

○こども誰でも通園制度開始

○待機児童ゼロの継続

【保育所等11年連続、学童クラブ事業13年連続】

○京都安心すまい応援金の創設

○質の高い保育環境【手厚い保育士配置と処遇改善】

○子ども医療費支給制度の更なる拡充に向けて議論開始

○つどいの広場・児童館 笑顔あふれる子育て拠点の数が約180箇所【大都市最多】

○全国トップ水準の学力【質の高い教育を推進】



無償化することで・・・

→ 2人以上の子どもがいる家庭の経済的な負担の軽減

さらに！

→ **他の事業**（住宅取得への支援、子ども医療費助成の更なる充実、遊び場の拡充など）との相乗効果で、**少子化に歯止めをかけ、若者・子育て世代から選ばれるまち京都へ**



無償化のポイント

実施時期・対象

→ 令和7年4月から、世帯内2人目以降

→ 同時入所要件なし！

→ 所得制限なし！





無償化の概要①



対象者



認可保育施設を利用している世帯内2人目以降

認可保育施設

保育園（所）、認定こども園、小規模保育事業所、
事業所内保育事業所、家庭的保育事業所



無償化の概要②

本市負担額

約 13.5 億円

対象児童数

約 5,500 人

※ 令和5年度の児童数を基にした試算





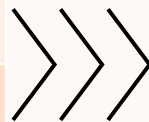
無償化の概要③



現行制度との比較

(令和7年4月以降)

	同時利用 の有無	1～2 階層	3～9 階層	10～16 階層	17～22 階層
第1子	—	無償	基準額	基準額	基準額
第2子	有	無償	はぐくみ 応援額	はぐくみ 応援額	はぐくみ 応援額
	無	無償	はぐくみ 応援額	基準額	基準額
第3子 以降	有	無償	無償	無償	無償
	無	無償	無償	無償	基準額



	同時利用 の有無	1～2 階層	3～9 階層	10～16 階層	17～22 階層
第1子	—	無償	基準額	基準額	基準額
第2子	有	無償	無償	無償	無償
	無	無償	無償	無償	無償
第3子 以降	有	無償	無償	無償	無償
	無	無償	無償	無償	無償